

別記様式第6号(別記1の第6の1、別記2の第5、別記3の第5、別記4の第6、別記7の第6の1の(1)関係)

鳥獣被害防止総合支援事業、鳥獣被害防止都道府県活動支援事業(都道府県広域捕獲活動支援事業)鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業及び鳥獣被害防止対策促進支援事業(中山間地域等鳥獣被害防止施設整備事業)の評価報告(令和5年度報告)

鳥根県雲南市

1 被害防止計画の作成数、特徴等

作成数: 1

特徴等: イノシシによる被害に加え、サル、ムートリア等他の鳥獣種の被害も市内全域で近年増加しており、防除などの対策にも苦慮している。そのため、親友会が編成する有害鳥獣駆除班と市の連携により有害鳥獣の捕獲を実施するとともに、農地を防護網により保護する対策を継続的に実施することとしている。また、今後は鳥獣被害対策実施の隔年、捕獲の短い年確保のための取り組み、集落ぐるみの鳥獣対策の推進を目標としている。

2 事業効果の発現状況

地域の体制整備、被害防止効果、捕獲状況、人材育成状況、耕作放棄地の解消等様々な角度から記載する。

本事業でワイヤーメッシュを設置したところについては被害報告はなく、効果が発現していると考えられる。捕獲を行う駆除班員は年々増加しており、捕獲数も増加によって増減はあるが増加傾向にある。本事業に一定の効果はあるものの、鳥獣の生息数や生息域も増加していると考えられ被害の軽減に至っていない。

3 被害防止計画の目標達成状況

被害防止計画の目標の達成状況を記載する。

被害防止計画の達成率: 0%

被害実施の達成率: 0%

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名(協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績				事業実施主体の評価	第三者の意見	
										被害発生数		被害抑制数				
										目標値	実績値	達成率	目標値			実績値
雲南市	雲南市	R2	イノシシ、サル、シカ、タヌキ、ムートリア、カラスほか	有害鳥獣捕獲	3,008頭	雲南市			鳥根と山の雄倉付近で、イノシシ、タヌキ、サル等により水田や野菜類の被害が多発していることから、緊急捕獲活動支援事業を活用し山や田畑の周辺において駆除班が有害捕獲を行った。また、地域住民による盗いしを實踐しつつ、田畑や集落を囲うように侵入防止柵を設置した。これらの取組により、市内におけるイノシシの有害捕獲捕獲頭数は、R3を大きく上回る捕獲数であった。幸甚として、R3 7月の豪雨災害の影響によって、地域によっては捕獲活動が実施できない期間があったり、被災により収穫、作付けが出来なくなった農地が一時的に増加したことが考えられる。(施設整備、緊急捕獲活動助約の平成22年度では年間約有害捕獲頭数はイノシシで1,290頭、有害鳥獣全体で1,980頭、整備後の令和4年度では年間の有害捕獲頭数はイノシシで2,293頭、有害鳥獣全体で、2,729頭だった。)							対象鳥獣の捕獲を通じて農林や畜産への被害軽減に事業によって一定の被害を抑制していると考えられる。また、本事業により、ワイヤーメッシュを設置している農地については、被害報告がなく、一定の効果が発現していると考えられる。しかし、市内全体での被害をいまいちめるには至らず、まだ多くの被害が発生している。また、更なる防護柵設置の推進、有害鳥獣の捕獲体制の充実を図ることや防除に駆除の両面から有害鳥獣に対応していくことが必要であると考える。R3、7月豪雨災害により、市内全域に渡り大きな被害を受けた。山道の崩壊、大中小の道路、河川、農業用のため池、園芸工、水路等の公共施設、農業用施設は甚だり、鳥獣の被害は甚大であった。R5時点においても復旧は中速であり、復旧にはさらに数年を要する見込みである。復旧工事未着手の山林、道路、河川や農地を通して有害鳥獣が侵入している事例も散見され、災害復旧を待たれる状況がある。
雲南市(雲南市鳥獣被害対策協議会)	雲南市	R2	イノシシ	ワイヤーメッシュ設置	5,124m	同協議会	R3.3	100	新製品の開発、パッケージング、販売促進のためのコンサルティング) 新商品を販売するため、食品衛生法に基づき細菌検査・成分検査・薬玩動物原料成分規格検査、原料分析を行った市内のジエチル利用を推進するため、駆除班員を対象とした食料利用のための止めし、解体講習会を開催した。R3 農産加工施設で活用/先受け入れられているが、R4は、1日限りを受け入れられている。食品関係や都市部への販路の拡大、駆除班の適切な駆除班の処理により安定した受け入れ態勢を構築する。	757	1320	0	22	35	0	被害防止対策を推進する上で重要である集落ぐるみの取組が実践されており、被害防止を促進している。また、被害発生している農地については、被害報告がなく、一定の効果が発現していると考えられる。しかし、市内全体での被害をいまいちめるには至らず、まだ多くの被害が発生している。また、更なる防護柵設置の推進、有害鳥獣の捕獲体制の充実を図ることや防除に駆除の両面から有害鳥獣に対応していくことが必要であると考える。R3、7月豪雨災害により、市内全域に渡り大きな被害を受けた。山道の崩壊、大中小の道路、河川、農業用のため池、園芸工、水路等の公共施設、農業用施設は甚だり、鳥獣の被害は甚大であった。R5時点においても復旧は中速であり、復旧にはさらに数年を要する見込みである。復旧工事未着手の山林、道路、河川や農地を通して有害鳥獣が侵入している事例も散見され、災害復旧を待たれる状況がある。
雲南市	雲南市	R3	イノシシ、サル、シカ、タヌキ、ムートリア、カラスほか	有害鳥獣捕獲	1,590頭	雲南市			本事業でワイヤーメッシュを設置したところについては被害報告はなく、効果が発現していると考えられる。捕獲を行う駆除班員は年々増加しており、捕獲数も増加によって増減はあるが増加傾向にある。本事業に一定の効果はあるものの、鳥獣の生息数や生息域も増加していると考えられ被害の軽減に至っていない。							
雲南市(雲南市鳥獣被害対策協議会)	雲南市	R3	イノシシ	ワイヤーメッシュ設置	3,556m	同協議会	R4.3	100								
雲南市	雲南市	R4	イノシシ、サル、シカ、タヌキ、ムートリア、カラスほか	有害鳥獣捕獲	1,821頭	雲南市										
雲南市(雲南市鳥獣被害対策協議会)	雲南市	R4	イノシシ、シカ	ジビエの有効活用に関する皮や骨を活用した新商品の開発・販路拡大		同協議会										
雲南市(雲南市鳥獣被害対策協議会)	雲南市	R4 (R3継続)	イノシシ	ワイヤーメッシュ設置	696m	同協議会	R5.3	100								
雲南市(雲南市鳥獣被害対策協議会)	雲南市	R4 (R3補正)	イノシシ	ワイヤーメッシュ設置	4,740m	同協議会	R5.3	100								

注1:被害金額及び被害面積の目標値については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。
 2:都道府県が事業実施主体となる鳥獣被害防止都道府県活動支援事業を実施した場合、その事業内容等も記載すること。
 3:事業効果は記載例を参考とし、数値等ごとに事業実施前と事業実施後の定量的な比較ができるよう時間軸を明確に記載の上、その効果を詳細に記載すること。整備事業を行った場合、捕獲効率の向上にどのようか寄与したかも必ず記載すること。
 4:「事業実施主体の評価」の欄には、その効果に対する考察や経営状況も詳細に記載すること。
 5:鳥獣被害防止施設の整備を行った場合、侵入防止柵設置後のほ場ごとの鳥獣被害の状況、侵入防止柵の種類・設置距離、事業費、国費、被害金額、被害面積、被害量、被害が生じた場合の要因と対応策、設置に

5 都道府県による総合的評価

--